
日本的な家屋の風景

北野 鉄露

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本的な家屋の風景

【Nコード】

N6249U

【作者名】

北野 鉄露

【あらすじ】

新しい家に引っ越してきた父と子の会話…？

【和風小説企画参加作品】

「おとうさん、これが新しいおうち？」

「ああ、そうだ。今日からはこの家に住むんだぞ」

「おとうさん、屋根がごつごつして固そうだけど、どうしてあんな風になっているの？」

「あれは瓦葺き屋根といって、日本に昔から伝わる屋根の様式なんだ。瓦は焼き物でできていて、一枚一枚重ねていって屋根にするんだ。どうだ、立派だろう」

「うん、すごいね。——おとうさん、庭にお池もあるね。この竹の筒はなあに？」

「これは鹿威しというんだよ。竹の中に水が溜まるとひとりで動いて水を流すんだ。その時に竹が石を打ってスコーン、といい音になるんだよ」

「へえ！ その音、聞いてみたいなあ。——おとうさんおとうさん、この家はベランダが木でできているんだね」

「はっはっは、これは縁側だ。こういう形にするとゴミを掃き出しやすいし、日当たりもよくなる。それにこれだけ広く空けてあるから、この立派な庭を家の中から眺めることができるじゃないか」

「そうだね。ここでひなたぼっこできるね」

「ああ、そうだな。昼寝したらすごく気持ちがいいだろうな」

「ところでおとうさん、すぐそこに線路があるよ」

「おお、家のすぐそばに電車が通っているんだな。これは楽しみだ」

「どんな電車がくるんだろう？ ——あ！ 電車が来たよ、おとうさん！ 新幹線だ！」

「新幹線？ 本当だな。——おお、すごいスピードで通り過ぎていったよ」

「速かったね。今度乗りたいな。——あれ、おとうさん！ 新幹線が向こうで脱線してるよ！」

「うん？ ああ、こりゃいかん。すぐに直さなくちゃいけないな」

「——あなた！ あなた！ 一人で何ぶつぶつ言ってるの？」

「……ん？ ヨシ子か。どうした？」

「もうお昼よ。お昼ご飯できたから——って、なあに？ また朝から鉄道模型？ あなたも好きねえ。でも、いい歳して一人で会話ごっこはやめたら？ 傍から見たらすっごくブキミだし」

「いいじゃないか。想像するのが楽しんだ。……それより、これを見てくれ！ 昨日買ってきた『日本風住居シリーズ』の第一弾なんだ。精巧にできているだろう？ 瓦も一枚一枚リアルだし、鹿威しもついていてこんなに小さいのに動くんだ。——いやあ、やっぱり鉄道模型はいいよな。やめられないよ」

「鉄道模型の家もいいけど、そろそろ自分が住む家のことも考えてよね。もうすぐ子供だって生まれるんだし。——どうせだったら、私をそういう家に住まわせて欲しいわね」

「……」

（後書き）

のっけから何事だ、と怒られそうですね（笑）

朝、顔を洗っていたら思いついたのでさっさと書き上げました。

ってか、今どき鹿威しのある庭なんかあるか！ とかツツこまれそうですね。

オチはつけたつもりなんで許してください。

男のロマンも、女の何とやらには勝てないといえますし…。

この作品は軽くジャブです。

追って、本作品（短編）をアップいたします。

主催者の伊那樣、参加させていただきありがとうございました！
和風小説企画はこちら←

<http://wafukikaku.web.fc2.com/>

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6249u/>

日本的な家屋の風景

2011年8月10日09時45分発行